

病児保育広域利用プロジェクトチーム

広域受入のアンケート結果

概要：全国病児保育協議会の都道府県支部長にアンケート調査の実施を行い、広域利用の状況把握ならび確度の高い都道府県を抽出し、本プロジェクトチームで推進を行う。

目標

- 各都道府県支部長に病児保育の広域受入の重要性とガイドラインの存在を知ってもらう
- アンケートにより、広域受入未実施だが、今後推進が期待される都道府県を抽出する
- すでに広域受入が実現している都道府県の課題を把握する

結果

2023年3月末：支部長へのメーリングリストでアンケート調査を実施

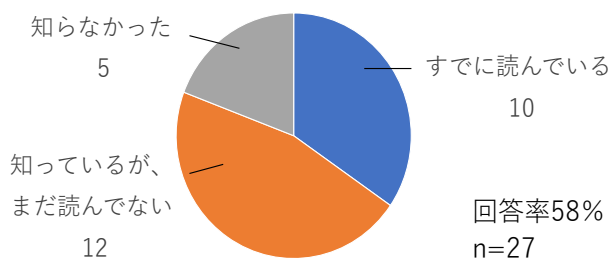
27都道府県が回答（回答率58%）

1. 病児保育広域受入ガイドライン2022について及び広域受入の実施状況

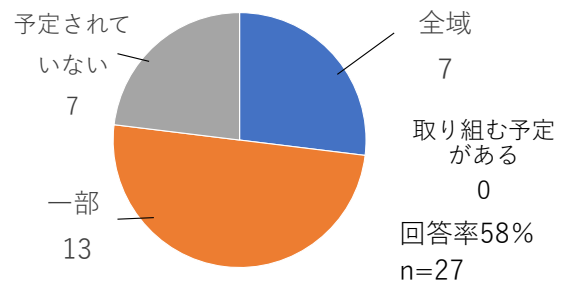
質問1：2022年に発表された「病児保育広域受入ガイドライン2022」について教えてください。

質問2：貴県での病児保育の広域受入の実施状況について教えてください。

1. 病児保育広域受入ガイドライン2022について



2. 広域受入の実施状況



2-1. 貴県での病児保育の広域受入後の課題（全域実施、7都道府県）

質問：貴県での病児保育の広域受入制度導入後の課題について教えてください。

回答：料金の統一、ICT化の統一、利用者が多い地域と少ない地域がある、隣接県との広域を検討

2-2. 貴県での広域受入の実施状況（一部の市区町村実施、13都道府県）

質問：貴県での広域受入の導入意向について教えてください。

回答：県内全域での広域受入をしたい 7 都道府県

県内全域での広域受入をしたくない 0 都道府県

どちらとも言えない 6 都道府県

質問：貴県での広域受入を実施している市区町村名を教えてください。

回答：東京都：葛飾区と足立区の一部

千葉県：白子町、長生村、一宮町、茂原市

徳島県：徳島市など12市町

岐阜県：岐阜市など14市町

和歌山県：有田川市 御坊市 田辺市

神奈川県：川崎市と東京都

山形県：川西町

広島県：広島市、廿日市市、呉市、府中町、坂町

熊本県：熊本市など15市町村

群馬県：館林市邑楽郡

静岡県：富士市

大阪府：大阪市

栃木県：宇都宮市周辺

3-3. 今後の予定（取り組む予定がある、0都道府県）

質問：貴県での広域受入を実施している市区町村名を教えてください。 回答：なし

質問：今後の予定 回答：なし

3-4. 貴県での病児保育の広域受入制度の導入について（予定されていない、7都道府県）

質問：貴県での広域受入の導入意向について教えてください。

回答：必要だと思うが現状では難しい 4都道府県

まだ検討をしていない 3都道府県

今後取り組みたい 0都道府県

必要だと思わない 0都道府県

質問：そう思う理由を教えてください。

回答：事業許認可の権限がある地方自治体によって受入等の課題や病児・病後児での受入や対応基準が多様に異なる中で、統一化していくべき基準の策定や見解の共有が何よりも第一。

必要性を訴える声をまだ聞いていない。

今後調査し、必要に応じて検討はおこないたいと考えている

市町村の自治体同士が協定を結べば、その自治体間は相互に利用出来る仕組みになっている。

広域受入れは我々が必要だと思っても、県をはじめ自治体が認めてくれないといけないから。

市町村の意向が問題。